2020年11月10日

第2回世界経営史会議の開催方法について

経営史学会会員の皆さま

2020年10月11日付アナウンスにおいて、2021年9月9日（木）～11日（土）に南山大学にて第2回世界経営史会議（The Second World Congress of Business History: WCBH）を開催することをお伝えいたしました。

その後、ヨーロッパ、北米だけでなく、日本においても新型感染症の新たな拡大が懸念される事態となっていることは周知のところです。この間、ヨーロッパ経営史学会（EBHA）の役員会および経営史学会の拡大理事会において第2回世界経営史会議の開催方法について検討を重ねて来ました。こうした検討を踏まえて、EBHA会長のAndrea Colli教授（イタリア、ボッコーニ大学）と私の協議の結果、誠に残念ですが、第2回世界経営史会議はリモート形式にて開催することといたしました。そのことをお伝え申し上げます。

4年前から準備を重ねてきた者の一人として、誠に残念ですが、現下の状況から致し方ないと判断いたしました。会員の皆さま方のご理解をいただきたくお願い申し上げます。

これからは気を取り直して2021年9月9日（木）～11日（土）に開催されます、リモート形式での第2回世界経営史会議の成功に向けて準備を進めていく所存です。もちろん「時差」という大きな制約条件がありますので、国内での来月開催されます全国大会のようにはまいりません。しかし大きな制約下においても、事前の報告論文のアップロード、圧縮された時間内での報告、討論を確保しつつ、充実した会議を開催できるよう努力していきたいと存じます。会員の皆さま方の一層のご協力をお願いいたします。

前便でもお伝えしましたが、リモート形式になっても、報告が決定しております会員の方々の報告権利はそのまま持ち越されます。今後、報告内容を改善し、より内容豊かなご報告をお願いいたします。

さらに、より多くの会員の方々に報告していただけるよう、追加的なCall for Paperを行います。詳細につきましては、

WCBH Website(<http://bhs.ssoj.info/WCBH2020/index./html>)にてご確認下さい。

最後になりましたが、会員の皆さま方にはご健康にご留意下さいますようお願い申し上げます。

経営史学会会長　沢井　実